

日本の獲得メダルで振り返る 東京2020オリンピック・パラリンピック

体育・保健体育ニュース
増刊号

新型コロナウイルス禍の逆風吹き荒れる中、原則無観客で実施された東京大会が幕を閉じた。異例づくめの大会ではあったが、世界各国から集まった一流の選手たちの活躍は、多くの感動を与えてくれた。大会を支えたスタッフやボランティアの存在も忘れてはならない。次は、来年2月に控える冬季北京大会の行方に注目が集まる。

OLYMPIC PARALYMPIC



上：オリンピック開会式で聖火を灯した大坂なおみ選手

下：パラリンピック閉会式会場に浮かび上がった「ARIGATO（ありがとう）」のメッセージ

機関紙

この機関誌は、「教科書発行者行動規範」（教科書協会）に則って適切に配布されています。

回覧

夏季オリンピック					
年	都市	金	銀	銅	合計
1920	アントワープ	②			2
24	パリ	①			1
28	アムステルダム	② ② ①			5
32	ロサンゼルス	⑦ ⑦ ④			18
36	ベルリン	⑥ ④ ⑩			20
52	ヘルシンキ	① ⑥ ②			9
56	メルボルン	④ ⑩ ⑤			19
60	ローマ	④ ⑦ ⑦			18
64	東京	⑩ ⑤ ⑧			29
68	メキシコシティ	⑦ ⑦ ⑦			25
72	ミュンヘン	⑧ ⑧ ⑧			29
76	モントリオール	⑥ ⑩ ⑨			25
84	ロサンゼルス	⑧ ⑩ ⑩			32
88	ソウル	④ ③ ⑦			14
92	バルセロナ	③ ⑧ ⑪			22
96	アトランタ	③ ⑥ ⑤			14
2000	シドニー	⑤ ⑧ ⑤			18
04	アテネ	⑩ ⑨ ⑫			37
08	北京	⑥ ⑩ ⑨			25
12	ロンドン	⑦ ⑭ ⑮			38
16	リオデジャネイロ	⑫ ⑧ ⑮			41
21	東京	⑮ ⑭ ⑮			58
競技					合計
アーチェリー					2
ウエイトリフティング					1
空手					3
競泳					3
ゴルフ					1
サーフィン					2
自転車					1
柔道					12
スケートボード					5
スポーツクライミング					2
体操					5
卓球					4
バスケットボール					1
バドミントン					1
フェンシング					1
ボクシング					3
野球・ソフトボール					2
陸上					2
レスリング					7

“遅咲きのスイマー”2つの金メダル



競泳女子個人メドレー 200m・400mでそれぞれ金メダルを獲得し、オリンピックでは日本人女子選手史上初の2冠を達成した大橋悠依。

大逆転で卓球界初の金メダル



混合ダブルスの水谷隼・伊藤美誠ペア。王者中国が相手の決勝戦では0-2からの逆転勝利を収め、日本卓球史上初の金メダルを獲得した。

兄妹そろって金メダル



柔道・男子66キロ級の阿部一二三と妹で女子52キロ級の阿部詩が、同日に金メダルの快挙を成し遂げた。性別の異なる兄妹が、五輪のメダルを取るの日本初。

日本最年少の金メダリスト・西矢椛



東京オリンピックの新競技スケートボードの女子ストリートで、日本選手として最年少の13歳で金メダルを獲得した西矢椛。

数字と写真で オリンピック・ パラリンピックを プレイバック!!

日本の大会別獲得メダル数

東京2020大会の競技別獲得メダル数

夏季パラリンピック					
年	都市	金	銀	銅	合計
1964	東京	1	5	4	10
68	テルアビブ	2	2	8	12
72	ハイデルベルグ	4	5	3	12
76	トロント	10	6	3	19
80	アーネム	9	10	7	26
84	ニューヨーク/アイズペリー	9	7	8	24
88	ソウル	17	12	17	46
92	バルセロナ	8	7	15	30
96	アトランタ	14	10	13	37
2000	シドニー	13	17	11	41
04	アテネ	17	15	20	52
08	北京	5	14	8	27
12	ロンドン	5	5	6	16
16	リオデジャネイロ	10	14		24
21	東京	13	15	23	51
競技					合計
競泳					13
陸上					12
バドミントン					9
自転車					2
車いすテニス					4
ボッチャ					3
トライアスロン					2
車いすバスケットボール					1
柔道					2
ゴールボール					1
卓球					1
車いすラグビー					1

“5年前の忘れ物”悲願の金メダル



マラソンの女子視覚障がいでは、世界記録保持者でリオ大会銀メダルの道下美里が大会新記録を樹立し、初の金メダルに輝いた。

日本のパラ史上最年少メダリスト



新潟県阿賀野市の中学3年生・山田美幸は、両足の機能をフルに使って背泳ぎの100mと50mで銀メダルを獲得した。

王者アメリカを追い詰めるも惜敗



車いすバスケの日本代表は、準決勝で18年世界選手権王者の英国を撃破。決勝ではアメリカに4点差で惜敗し、銀メダルを獲得した。日本男子の過去11大会の最高成績は7位だった。

精密ショットで日本初のボッチャ金メダル



ボッチャは「地上のカーリング」と呼ばれ、ミリ単位の攻防が魅力。杉村英孝は正確なショットを武器に、この競技で日本勢初の王者に。

女子バスケット銀メダリスト・ 本橋菜子選手にインタビュー

東京オリンピックの女子バスケットボール・日本代表チームは、世界ランキング上位の国を次々と破って決勝まで勝ち上がり、銀メダルを獲得しました。バスケットボールで男女を通じて史上初となるメダル獲得の快挙に日本中が沸き立ったことは、記憶に新しいところです。今回、その日本代表で大活躍された本橋菜子選手にお話を伺いました。



本橋菜子 (もとはし なこ)

1993年生まれ。埼玉県朝霞市出身。東京羽田ヴィッキーズ所属。ポジションはポイントガード。2018年の代表初招集から結果を出し続けてチームに定着し、19年のアジアカップでは大会MVPに輝く。

——銀メダル獲得おめでとうございます。周囲の反応はいかがでしたか。

決勝戦から一カ月が経って、少し落ち着いてきました。また、私以上に周囲の方が喜んでくれ、お祝いやねぎらいの言葉に加えて、「感動をありがとう」と声をかけてもらいました。私自身、バスケットを通してみなさんに少しでも元気を届けられたら、との思いでプレーしていましたので、それが実感できる言葉を頂けてうれしく思いました。

——今大会ではスーパーサブとして、大事な場面で起用され、その期待に応えるプレーが印象的でした。

「結果を出さなければ」と思うと緊張や重圧を感じてしまうので、結果のことは気にせず、練習してきたことを出し切るつもりで、目の前のプレーを楽しみました。

——昨年11月に右膝の前十字靱帯を損傷され、復帰は絶望的とみられていました。逆境の中、どのような気持ちでリハビリに励まれたのですか。

大学生のときに同じ所の靱帯を断裂していました。最悪の時期に古傷を痛めてしまったことで、喪失感がとて



オリンピック決勝のアメリカ戦。ドリブルで攻める本橋選手（手前右）。



も強かったです。でも、翌日に病院で診察を受け、トレーナーとも相談して復帰までのリハビリの方針を決め、オリンピックに間に合う可能性があるとは分かってからは、あきらめない気持ちを強く持って、前向きに取り組めました。

——復帰後、けがの予防に向けて、日々の生活で意識されていることはありますか。

けがの予防だけでなく、疲労の回復という意味でも、睡眠時間は7～8時間確保しています。また、食事に関しても、以前は好き嫌いがあったのですが、いまは栄養バランスを考えて食べています。そのおかげか、けがをしにくくなり、私より若い選手と比べて疲労の回復も早いようです。

——これまでバスケットを通して、様々なことを経験したり、人間関係が広がったり、新たな出会いがあったと思います。

中学と大学ではキャプテンを任されました。私は元々、恥ずかしがり屋で、人前で話すのが苦手だったんです。でも、キャプテンとしてチームをまとめていくなかで、人前で話す経験やコミュニケーションの方法を学んできました。恩師の先生は、私がこうして人前で緊張もせずに話している姿を見て、驚かれますね。

——オリンピックの活躍を見て、バスケットを始めたいと思う子どもたちも増えてくるでしょう。子どもたちに、メッセージをお願いします。

どのスポーツにも言えますが、できなかったことができるようになる楽しさや、スポーツを通してワクワクする経験をたくさん味わってください。それと、スポーツを楽しむためにも、睡眠や食事も大切ですよ。

*インタビュー：大修館出版販売(株)本社にて

2021年No.4（通算41号 増刊号）

2021年10月20日発行

●編集 大修館書店編集部

●発行所 株式会社大修館書店

〒113-8541 東京都文京区湯島2-1-1

TEL 03-3868-2298 / FAX 03-3868-2645

【出版情報】<https://www.taishukan.co.jp/>

●印刷・製本 広研印刷株式会社